

平成 20 年度 第 1 回コンクリート委員会・第 3 回常任委員会 議事録 (案)

日 時：平成 20 年 9 月 9 日 (火) 14:00～16:45

場 所：仙台市 江陽グランドホテル

出席者：池田、岡村、角田、国府、小柳、町田、三浦の各顧問

宮川委員長，横田幹事長，鮎田（代理：須藤）、内田、遠藤、大浦（代理：鈴木）、大塚、児島、庄谷、鈴木、関、近田、名和、平澤、三島、山崎、大和（代理：添田）の各委員
石橋，井上（代理：三方）、猪熊（代理：宮内）、入矢，上田，魚本，岡澤、河野、黒田，坂井、堺，佐藤（勉），佐藤（良）、島，下村、新藤，武若、手塚，富田，中村，二羽，橋本，丸山、睦好，渡辺の各常任委員，
岸，佐藤，信田，服部，濱田の各幹事，松沼、村木（事務局）

配布資料：

- 3-0 平成 20 年度 第 1 回コンクリート委員会・第 3 回コンクリート委員会常任委員会 議事次第
- 3-1 平成 20 年度 第 2 回常任委員会 議事録 (案)
- 3-2 土木学会コンクリート委員会・委員会活動報告
- 3-3 コンクリート教育研究小委員会 (第 8 期) 委員構成 (案)
- 3-4-1 土木学会コンクリート委員会 規準関連小委員会委員構成 (案)
- 3-4-2 土木学会コンクリート委員会 土木材料実験指導書編集委員会委員構成 (案)
- 3-4-3 土木学会コンクリート委員会 歴代構造物品質評価/品質検査制度研究小委員会 (JSCE216 委員会)
- 3-4-4 コンクリート委員会 フライアッシュ有効活用研究小委員会 委員構成
- 3-5 土木学会コンクリート委員会 次期委員長推薦投票について (ご依頼)
- 3-6 土木学会論文集改革の基本方針等の確認について (ご依頼)
- 3-7 「出版会計の課題と改善策 (案)」英文図書の取り扱いについて
- 3-8-1 331 材料劣化が生じたコンクリート構造物の構造性能研究小委員会 (第 2 期)
- 3-8-2 土木学会コンクリート委員会 コンクリートー地盤境界問題研究小委員会 (332)
- 3-9-1 「構造物表面のコンクリート品質と耐久性能検証システム」研究小委員会 (335 員会) 成果報告会の開催案内
- 3-9-2 「コンクリート構造物の耐震・耐久信頼性設計方法に関する講習会 ～公開ハザード情報を用いた信頼性評価と異種構造物間の比較～」の開催について

議 事：

1. 委員長挨拶 (宮川委員長)

宮川委員長より開会挨拶があった。

2. 前回常任委員会議事録の確認 (平成 20 年度第 2 回常任委員会) 【資料 3-1】

佐藤幹事より前回議事録（案）について説明があり、修正意見はなく承認された。

3. 審議事項

(1) 土木学会コンクリート委員会・小委員会活動報告（1種・2種）【資料3-2】

宮川委員長より1年間の活動について報告があった。特に質問は出されなかった。

(2) 土木学会コンクリート委員会・小委員会活動報告（3種）【資料3-2】

横田幹事長より1年間の活動について報告があった。

- ・ 岡村顧問より、現行の3種委員会の中でスポンサーの有無、について質問が出された。
これに対し、横田幹事長より、現時点ではスポンサーがついている委員会はない、旨の回答がなされた。また、下村委員より、331委員会の一部を科学研究費補助金に申請したこと、について紹介がなされた。
岡村顧問より、種の委員会については外部からの資金をもっと導入するようにすると良いのではないかと、結果として外部の評価を受けることになる、との意見が出された。
- ・ 岡村顧問より、多くの委員会が活発に活動しているが、海外への貢献について、質問が出された。
これに対し、塚委員より、標準示方書をベトナムに技術移転するためにJICAに予算申請していること、2008年度はスウェーデンと共同セミナーを開催したこと、韓国土木学会と協定を締結していること、などの紹介があった。
また、宮川委員長より、示方書の英訳作業を急いで行っており、海外へ積極的に発信していく予定である、との説明がなされた。
魚本委員より、ベトナムにてACFを開催する予定であるが、そのブースにコンクリート委員会から出展するとよい、との意見が出された。
これに対し、宮川委員長より、コンクリート委員会として前向きに検討したい、との回答がなされた。

(3) コンクリート教育研究小委員会委員について【資料3-3】

渡辺委員（幹事長予定）より説明があり、承認された。

(4) 1種・2種小委員会委員追加・変更について【資料3-4】

宮川委員長より説明があり、承認された。

(5) その他

- ・ 岡村顧問より、現在は示方書の各編を同時に出しているが、時期をずらして出し、それにより、コンクリート委員会の各委員が示方書を詳細に検討することができるのではないかと、との意見が出された。
これに対し、魚本委員（前示方書改訂小委員会委員長）より、同時に改訂する方がより多くの方が示方書改訂に関与することができるとも考えられる、加えて、示方書本体については同時に改定することにして、構造物種別ごとの標準を適宜出してゆくのが良いのではないかと、との意見が出された。
- ・ 岡村顧問より、示方書に対してコンクリート委員会委員全員がもっと責任を持つという姿勢も大事ではないかと、との意見が出された。

二羽委員より、構造物ごとに示方書をまとめるということもある、という意見が出された。

宮川委員長より、示方書の改訂方法の検討を進めたい、との回答がなされた。

- ・ 町田顧問より、1種、2種、3種の委員会の分類を見直す時期に来ているのではないかと、この意見が出された。

これに対し、岡村顧問より、町田顧問の考えに同意する、また、現行の3種の委員会はJCIに移管してもよいのではないかと、2種の委員会は示方書にリンクする内容を扱うべきではないかと、さらに、現行の委員会の制度を見直すべき時期に来ているのではないかと、この意見が出された。

宮川委員長より、現行の委員会制度を見直す必要性についてはそのとおりであり適宜検討する予定である。ただし、現行の3種委員会は予算からの制約がないので認められやすいという利点がある、との回答がなされた。

4. 報告事項

(1) 次期委員長推薦投票について【資料3-5】

佐藤幹事より説明があった。特に質問は出されなかった。

(2) 土木学会論文集改革の基本方針について【資料3-6】

信田幹事より説明があった。

- ・ 丸山委員より、コンクリート分野については大きな影響を受けることはない想定されること、英文論文についてはACTを重視することは理解されている、旨の説明がなされた。
- ・ この件について質問あるいは意見がある場合は、幹事会に出すこととなった。

(3) 出版会計の課題と改善策（案）英文図書の取り扱いについて【資料3-7】

岸幹事より説明があった。

- ・ この件について質問あるいは意見がある場合は、幹事会に出すこととなった。

(4) 平成21年度出版計画について

岸幹事より説明があった。

- ・ 来年度の出版計画がある場合は、出版計画書を提出することが要請された。

(5) 3種委員会委員の追加・交代について【資料3-8】

佐藤幹事より説明があった。

(6) 講習会・シンポジウム等開催報告【資料3-9】

佐藤幹事、服部幹事、睦好委員より説明があった。

- ・ 多くの参加をお願いする旨の依頼がなされた。

(7) その他

信田幹事より、ConMat'09について現状報告とともに、多くの参加をお願いする旨の依頼がなされた。

睦好委員より、日本圧接協会が発展的に日本鉄筋継手協会として発足した旨の案内がなされた。

三浦顧問より、コンクリートライブラリーと技術シリーズは、現在一般の会員には同等のオーソライズがされていると思われているようである。このため、コンクリート委員会として出版する成果物に対する責任の明確化が必要、ではないかとの意見が出された。

5. その他

事務局交代の挨拶

松沼氏より退任の挨拶、村木氏より新任の挨拶があった。

今後の日程を以下のように確認した。

次回幹事会（案件の締切）：2008年11月18日（火）

第4回常任委員会：2008年12月3日（水）14:00～17:00 予定 土木学会

以 上